平成 20 年度 第 2 回 大阪市都市計画審議会 会議要旨

1 日 時 平成 20 年 7 月 30 日 (水) 午前 10 時 30 分から午後 0 時 14 分

2 場 所 大阪市役所本庁舎 7 階 市会第 6 委員会室

3 出席者

(委員)

村橋会長、松澤会長職務代理者、角野委員、木村委員、中川委員、鳴海委員、
檜谷委員、藤本委員、正木委員、松永委員、南川委員、小玉委員、高田委員、
松田委員、田中委員、太田委員、荒木委員、山下委員、新田委員、八尾委員、
漆原委員、権世委員、広岡委員、瀬戸委員、寺戸委員、江川委員

(本市出席者)

(幹事)

北村計画調整局長、立田計画部長、高橋都市計画担当課長

(説明者)

[ゆとりとみどり振興局]

上田事業計画担当課長

入江用地取得計画担当課長

4 議 題

議第 131 号 大阪都市計画公園の変更について

5 議事要旨

(1) 計画調整局(幹事)から議題について説明を行った。審議の結果、原案のとおり可と答申された。

- ・ 議第 131 号 大阪都市計画公園の変更について
「2・2・619号海老江東公園」の追加について審議された。

(2) 意見等の概要は次のとおり

■ 委員からの主な意見・質問

- ・ 平成 14 年 3 月に公園事業用地として先行取得してから既に 6 年が経過している。もっと早く出来なかったのか。
- ・ 既に近くに存在している海老江上一児童遊園との関係はどう考えているのか。
- ・ 駐輪場の設置など自転車対策が必要ではないか。
- ・ 大阪中心部にあり、駅からも近い公園であり、十分なホームレス対策が必要ではないか。
- ・ 厳しい財政状況は理解できるが、公園については予算も大幅に現象している。ヒートアイランド対策、地球温暖化対策の面からも、公園や緑のあり方は市全体として、他に優先して考えるべき問題である。
- ・ 都市部である大阪市においては、公園はスポーツ振興の面で貴重な場となっている。都市部での土地の確保の困難さや財政難など困難な状況はあるが、住民の健康、子供の体力低下に歯止めをかけるといった観点からも、市全体の公園整備について、この審議会を超えた市長の姿勢というところも含めて検討してほしい。

■ 説明

- ・ 非常に厳しい財政状況の中、ようやく予算措置の目途が立ったことから、今回、都市計画公園として位置づけ、平成21年度より土地先行取得事業会計から一般会計への土地の再取得を開始し、平成28年度までには整備を完了したいと考えている。
- ・ 児童に適切な遊び場を与える児童遊園と街区内の居住者の利用する街区公園両方の機能が確保されることにより、相互の公園機能の向上を図ることができると考えている。
- ・ 都市公園法上、駐輪場の設置は困難ではあるが、不法駐輪に対する対策については今後検討していく。
- ・ ホームレス対策については、今後検討が必要な課題と認識している。

6 会議資料

(議案)

- ・ [議第131号 大阪都市計画公園の変更について](#)

7 お問い合わせ先

計画調整局計画部都市計画担当

電話番号 06-6208-7872

FAX 06-6231-3753

メール ea0006@city.osaka.lg.jp